

スクール・ポリシー（学校名：山崎高等学校（全日制課程））

<p>グラデュエーション・ポリシー</p> <p>○基盤となる力として、「基礎知識」、「基本的生活習慣」の育成を目指す。「基礎知識」の到達目標は学習した知識や技能について生活の中での活用ができるようにする。「基本的生活習慣」の到達目標は挨拶等のマナーや時間を守るなどの習慣の獲得、決められたルールやマナーに加え、自らの与えられた仕事、役割の遂行ができるようにする。</p> <p>○変化する社会に柔軟に対応する力として、「創造力」、「表現力」、「課題発見力」の育成を目指す。「創造力」の到達目標は様々なことに興味・関心を持ち、その内容について自ら考え、案を提示することができるようにする。「表現力」の到達目標は自己の考えや意見等を工夫して表現（記述・発表など）し、自分の考えなどを伝達することができるようにする。「課題発見力」の到達目標は自分自身や自分のおかれた状況を把握し、課題を発見ができ、自分や周囲の現状を把握し、その原因の分析ができるようにする。</p> <p>○共に挑戦し続ける力として「社会性」、「主体性」、「実行力」の育成を目指す。「社会性」の到達目標は集団の中で他者とコミュニケーションがとれること、お互いの考えの違いを受け入れ、会話や議論に向き合うことができるようにする。「主体性」の到達目標は与えられた状況や条件、指示、役割に従って課題に関わることができること、その中で先頭に立って課題に関わることができるようにする。「実行力」の到達目標は計画・行動の遂行ができるようにする。</p>
<p>カリキュラム・ポリシー</p> <p>○教科主任を中心とした教科会と担任団の連携により、生徒の適性に応じたきめ細かい学習指導を行い、基礎学力及び応用力を身につけさせる。</p> <p>○教科主任会を活用し、ICT機器の活用やアクティブ・ラーニング的手法（平成30・31年度推進校）を活用し、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。また、教科・科目ごとに年間指導計画を生徒に明示して、生徒が主体的に計画し、学習到達度を把握させるとともに、生徒自らが学力向上を目指すことができることを目指す。</p>
<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>4つの校訓である克己（自己のもつ弱さを克服する力）・高志（自分を高めようとする意志）・敬愛（お互いを大事にする優しさ）・協働（協力し合い助け合う姿勢）の実現に向けて「学習・行事・部活動すべての体験から進路実現へ」をスローガンとして、高め合う集団づくりを通し、自ら学び考える力を育み、希望する進路の実現を目指す。</p>